

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 7 年 6 月 25 日			
神戸市長 殿			
提出者 住 所 姫路市北条951番地1			
氏 名 (法人にあつては名称及び代表者氏名) 美樹工業株式会社 代表取締役社長 岡田 尚一郎			
電話番号 079-281-5151			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		28JS000280 美樹工業株式会社 神戸支店	
事業場の所在地		神戸市中央区港島中町1丁目1番地の3	
事業の種類		0600 総合工事業	
産業廃棄物処理計画における計画期間		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
排出量		6,390 t	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	
全処理委託量		6,390 t	
優良認定処理業者への処理委託量		t	
再生利用業者への処理委託量		6,390 t	
認定熱回収業者への処理委託量		t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：0200 汚泥)

事業者コード：28JS000280

地域コード：11(神戸)

(事業者コード(28Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①0

(単位:t)

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑮⑩のうち最終処分した量

⑯直接委託中間処理後の最終処分量

⑰直接最終処分委託量

⑱委託中間処理後の再生利用量(⑬-⑭):

0

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑬+⑭)

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑩のうち最終処分した量

⑬0

⑭0

⑮0

⑯0

⑰0

⑱0

項目	実績値
① 排出量	0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑩のうち最終処分した量

⑬0

⑭0

⑮0

⑯0

⑰0

⑱0

計画の実施状況	(産業廃棄物の種類： 0600 廃プラスチック類)	事業者コード： 28JS000280	地域コード： 11(神戸)
(事業者コード(28Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)			

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

① 17

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑬+⑭)

項目	実績値
① 排出量	17
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	17
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	17
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

<参考>

直接中間処理委託量

⑬ 17

直接最終処分委託量

⑭

直接委託中間処理後の残さ量

⑮ 17

直接委託中間処理後の最終処分量

⑯

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 17

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

⑩のうち最終処分した量

⑮

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪

委託中間処理後の再生利用量(⑮-⑯)：

17

計画の実施状況
(産業廃棄物の種類：
1500 がれき類
)
事業者コード：
28JS000280
地域コード：
11(神戸)

(事業者コード(28Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)

不要物等発生量

有償物量

排出量
①
5,562

(単位:t)

自ら直接再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した量
④

④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら中間処理した後の再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫
5,562

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

⑩のうち最終処分した量
⑮

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩
5,562

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑩+⑰)

直接中間処理委託量
⑯
5,562

直接委託中間処理後の最終処分量
⑰

直接最終処分委託量
⑱

直接委託中間処理後の再生利用量(⑱-⑲):
5,562

項目	実績値
① 排出量	5,562
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	5,562
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	5,562
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況	(産業廃棄物の種類： 2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ))	事業者コード： 28JS000280	地域コード： 11(神戸)
---------	--	---------------------------	----------------------

(事業者コード(28Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)


```

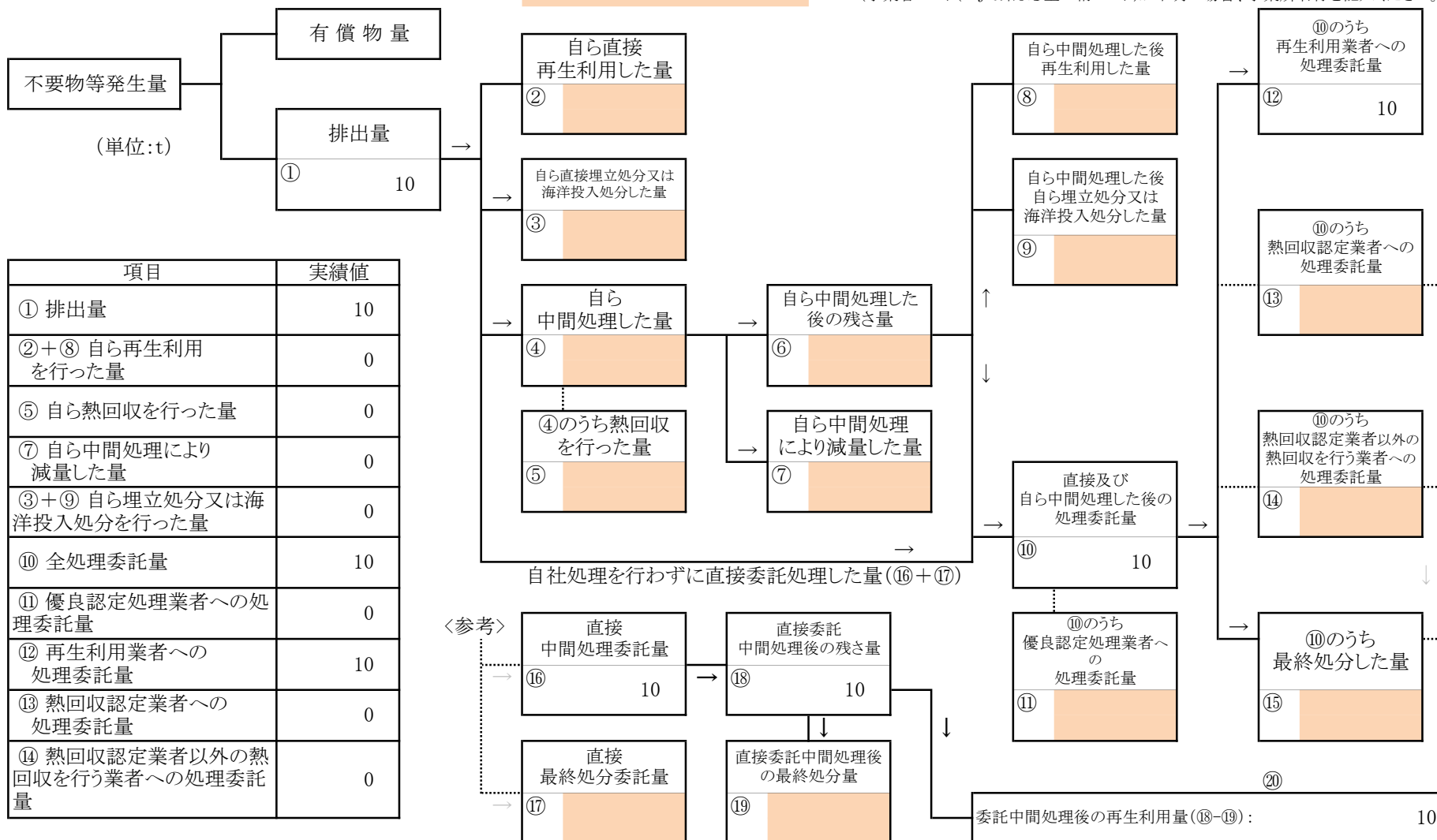
graph LR
    A[不要物等発生量] --> B[有償物量]
    A --> C[排出量 ① 12]
    C --> D[自ら直接再生利用した量 ② ]
    C --> E[自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③ ]
    C --> F[自ら中間処理した量 ④ ]
    F --> G[自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ ]
    F --> H[④のうち熱回収を行った量 ⑤ ]
    H --> I[自ら中間処理により減量した量 ⑦ ]
    G --> J[自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧ ]
    G --> K[自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨ ]
    G --> L[直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩ 12]
    L --> M["⑩のうち 再生利用者への処理委託量 ⑫ 12"]
    L --> N["⑩のうち 熱回収認定業者への処理委託量 ⑬ "]
    L --> O["⑩のうち 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭ "]
    L --> P["⑩のうち 最終処分した量 ⑮ "]
    L --> Q["⑩のうち 優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ "]
    Q --> R["⑩のうち 最終処分した量 ⑯ "]
    R --> S["委託中間処理後の再生利用量 ⑰-⑱ : 12"]
        
```

項目	実績値
① 排出量	12
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	12
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	12
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

<参考>

直接中間処理委託量 ⑯ 12	直接委託中間処理後の残さ量 ⑲ 12
↓	↓
直接最終処分委託量 ⑳	直接委託中間処理後の最終処分量 ㉑

(事業者コード(28Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法 - 産業廃棄物処理計画書)

現状: 前年度(令和5年度)実績量

計画: 今年度(令和6年度)実績量

神戸市

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(前年度実績値の①)		前年度実績値の②+⑧		(前年度実績値の⑤)		(前年度実績値の⑦)		前年度実績値の③+⑨		(前年度実績値の⑩)		(前年度実績値の⑪)		(前年度実績値の⑫)		(前年度実績値の⑬)		(前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
200 汚泥	0.3	0.3									0.3	0.3			0.3	0.3				
600 廃プラスチック類	16.8	15.1									16.8	15.1			16.8	15.1				
1500 がれき類	5561.6	5005.5									5561.6	5005.5			5561.6	5005.5				
2010 建設混合(安定型)	12.3	11.0									12.3	11.0			12.3	11.0				
2020 建設混合(管理型)	10.4	9.4									10.4	9.4			10.4	9.4				
合計	5601.4	5041.3	0	0	0	0	0	0	0	0	5601.4	5041.3	49.91	44.9	5601.4	5041.3	0	0	0	0